

定例会議の開催状況

- 1 日時 令和7年7月30日（水）午後1時15分～午後5時00分
- 2 出席者 斎藤委員長、櫻井委員、和田委員、逸見委員、山田委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本
部長
説明補助者
公安委員会事務室長、企画室長、けいさつ相談室長、監察官室長、交
通企画課長、交通規制課長、運転免許センター長、交通聴聞官、運転
免許センターセンター長補佐
- 3 議題事項
 - (1) 行政文書部分公開決定処分に係る審査請求の裁決について
公安委員会宛てに届いた行政文書部分公開決定に対する審査請求について、
裁決した。
 - (2) 運転免許取消処分に係る審査請求の審理経過報告及び裁決について
監察官室長から、運転免許取消処分に係る審査請求について、審理経過の報
告があり、裁決した。
 - (3) 新潟県公安委員会の事務の専決に関する規則等の一部改正について
運転免許センター長から、「新潟県公安委員会の事務の専決に関する規則等
について、関連法令の改正により修正が必要となったことから、所要の改正を行
いたい。」旨の説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。
 - (4) 交通規制の実施について
交通規制課長から、信号機の廃止4件及び一灯式信号機の廃止2件について
説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

委員から、「廃止対象となっている信号機交差点の中には、抜け道として利用
する車両が見受けられる交差点があることから、廃止後の交通状況に注視して
いただきたい。」旨の発言があった。
 - (5) 運転免許関係の意見聴取等について
交通聴聞官から、運転免許取消対象事案23件について、事案内容及び意見聴
取等結果の説明があり、審議の結果、取消し23件の行政処分を決定した。
- 4 報告事項
 - (1) 新潟県議会6月定例会の開催結果について
警務部長から、新潟県議会6月定例会の開催結果について、資料に基づき報

告があった。

(2) 警察あて苦情の受理及び処理状況について（令和7年6月末現在）

けいさつ相談室長から、令和7年6月末現在の警察あて苦情の受理件数及び処理状況等について報告があった。

(3) 令和6年(度)「ワークライフバランス等の推進のための取組計画」推進状況について

企画室長から、令和6年(度)「ワークライフバランス等の推進のための取組計画」推進状況について報告があった。

委員から、「年次有給休暇取得については、上司が計画的に取得することにより部下も取得しやすくなると思う。また、管理職への女性登用は、組織における女性職員の人数が少ないことから難しいこともあると思う。就職活動の際に、いかにも警察官らしい者の姿を見ただけで警察官になることを諦める女性もいると思う。採用活動では、女性が私でもできそうな仕事があるからやってみたいと感じられるような工夫をお願いしたい。さらに、育児や介護休暇に関しては、職員が家族や地域における役割を果たしながら仕事ができることは、結果として、私生活における安全、安心な社会形成や職場環境のプラスにつながり、そのように職員が安心して安全に仕事に従事できることは社会全体の安全、安心につながっていくと思うので、取組を推進していただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「男性職員における育児参加休暇3日以上取得率が低調な理由として、育児参加休暇を取得せずに育児休業を取得した職員の増加が一因とのことであったが、職員に有利となるような休暇及び休業の取得をさせるよう管理職に徹底していただきたい。」旨の発言があり、企画室長から、「取得前に幹部が対象者に面談を行っていることから、意向確認の際にもう少し踏み込んだ確認ができるよう、休暇制度等の周知に努めて参りたい。」旨の説明があった。

委員から、「提案制度の受理及び採択件数が減少しているが、提案制度に対する職員の諦めの表れのように見える。提案内容や検討状況が職員にフィードバックされるような良い循環ができると、活用する職員が増えると思う。また、年次有給休暇取得について、捜査部門は突発事案があり他部門に比べ低調とのことだが、例えば捜査員がペアを組んで確実に休暇を取得させるなど工夫をして、どの部門においても職員が確実に休暇を取得できるように努めていただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「この度の報告には具体的な事例が多く含まれており、組織を挙げて取組を進めていることがよく伝わった。今度は組織全体に取組が徹底されるように努めていただきたい。取組を進める際の一番のネックは、過去に休まずに仕事に取り組んで来た幹部職員の考え方もあり、幹部の意識改革が必要で

ある。休暇取得率など、結果が数字で表れる取組は数字として実績を上げ、それらの数字を以て採用活動に臨むこと、警察庁と連携を取り取組の検証や職員の理解につながる周知を行うことが大切である。また、幹部が対象者と面接をしている事例の報告があったが、幹部が職員に歩み寄り、声を聞きながら取組を進めることは組織において何よりも大切なことである。」旨の発言があった。

(4) 公安委員会宛て苦情申出の受理について（2件）

公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた警察職員の職務執行に関する苦情申出2件について報告があった。

(5) 令和7年4月から6月までの監督上の措置の実施状況について

監察官室長から、令和7年4月から6月までの監督上の措置の実施状況について報告があった。

(6) 民事調停事件の結果について

監察官室長から、民事調停事件の結果について報告があった。

(7) 令和7年6月末の犯罪情勢について

令和7年6月末の犯罪情勢に関し、刑事部長から刑法犯の概況について、組織犯罪対策本部長から特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の概況について、生活安全部長から特殊詐欺に係る被害防止の取組について、資料に基づき報告があった。

委員から、「侵入盗の認知件数が減少しているが、全国的な傾向か。」旨の質問があり、刑事部長から、「本県で減少した要因は、昨年は空き家狙いや工事場荒らしなどの連続侵入窃盗犯を検挙し、その際認知を計上したことにより認知件数が増えたことによるものであり、全国的な傾向とまでは言えないと思われる。」旨の説明があり、委員から、「佐賀県では民家における強盗事件が発生した。全国的な侵入盗認知件数の傾向は県民の体感治安にもつながると思われることから注意深く推移を見守っていきたい。」旨の発言があった。

(8) 令和7年度（第48回）新潟県警察嘱託警察犬審査会の開催について

刑事部長から、令和7年度（第48回）新潟県警察嘱託警察犬審査会の開催について、資料に基づき報告があった。

委員から、「優秀な嘱託警察犬を確保し、事件捜査において活躍することは大切なことである。」旨の発言があった。

(9) 第四北越銀行及び大光銀行との「特殊詐欺等撲滅に向けた情報の連携・協力に関する協定」締結式の実施について

組織犯罪対策本部長から、第四北越銀行及び大光銀行との「特殊詐欺等撲滅に向けた情報の連携・協力に関する協定」締結式の実施について、資料に基づ

き報告があった。

委員から、「県内の地方銀行2行とこのような協定を結ぶことは非常に有意義なことであることから、PRに努めていただきたい。」旨の発言があった。

(10) 上半期の高齢者事故、自転車事故の特徴について

交通企画課長から、上半期の高齢者事故、自転車事故の特徴として時間帯別及び状態別、通行目的別等の発生状況について報告があった。

委員から、「自転車事故におけるヘルメット着用率の統計数値を活用した自転車事故防止広報を行うと、説得力があり非常に効果的だと思う。」旨の発言があった。

(11) 令和7年4月から6月までの公安条例許可状況について

警備部長から、令和7年4月から6月までの公安条例許可状況について、資料に基づき報告があった。

5 その他

(1) 祭礼等の警備について

委員から、「今週末には長岡まつり、来週末には新潟まつりが予定されており、猛暑の中、多くの人出が予想されることから、警戒警備に万全を尽くしていただきたい。」旨の発言があり、本部長から、「猛暑が続いているが、祭礼等様々な行事にしっかり対応してまいりたい。」旨の発言があった。